

学生による認知症高齢者支援に関する普及・啓発を目指した 地域プログラムの実施



～関西福祉科学大学オレンジ・プロジェクト(FOP)～

学科・専攻

関西福祉科学大学

社会福祉学部 福祉創造学科 都村 尚子(代表)

社会福祉学部 福祉創造学科 成清 敦子

社会福祉学部 福祉創造学科 三田村知子

社会福祉学部 福祉創造学科 竹田 直樹

保健医療学部 リハビリテーション学科 辻 陽子

担当教員

連携先

関西福祉科学大学高等学校、柏原市役所、
社福)柏原市社会福祉協議会、社福)日本コイノニア
福祉会、(医)千輝会、社福)天心会、社福)三秀会、
社福)大阪聴覚障害者福祉会

※感染症予防等のため、連携を休止中のところもあります。

プログラム内容

認知症高齢者への理解を深め、コミュニケーション方法について学習するとともに、その実践として、認知症カフェの運営や地域への啓発活動等を行っています。本プログラムは学生が主体となって活動を行うところに特徴があります。認知症についての知識や認知症高齢者とのコミュニケーションに必要なスキルを身につけるために勉強会を企画したり、そこで学んだことを認知症カフェの運営などで活用しています。学生が地域住民の皆さんとの交流しながら、認知症高齢者やご家族を支える活動となっています。

成果・考察

学生は相互に協働しながら、認知症カフェをはじめとした学内外の活動を企画・運営し、実践的な学びを深めました。具体的には、今年度も月1回を基本とした勉強会や学外合宿を教員の協力を得て実施し、そこで習得したことを活用して認知症カフェに取り組みました。今年度は、R(立教館)カフェにおいて「FOP10周年」と「Rカフェ3周年」を記念した行事や学祭での茶道部とのコラボカフェを行ったり、出張型のアウトリーチカフェなど地域のニーズを意識した新たな取り組みにもチャレンジすることができました。これらの取り組みは「社会福祉学生HERO'S2024」で評価いただきました。学生一人ひとりの思いが認知症高齢者の方々をはじめ、地域の高齢者の方々の“暮らし”と“心”をお支える活動としてこれからも展開できればと考えています。



Rカフェ3周年行事(2024年7月7日)



Rカフェ3周年行事(2024年10月5,6日)



学生ヒーローズ賞授賞式(2025年2月19日)



関西福祉科学大学
福祉創造学科
成清 敦子 教授

FOPでの活動を通して、学生は多くの方々と触れ合いながら学び成長しています。例えば、認知症カフェでは、カフェの準備段階から、地域への広報活動、ご提供するレクリエーションプログラムの検討、自転車タクシーの準備など細やかな準備を重ね、当日には感染症予防や室内環境に配慮しながら、心地良く過ごしていただける集いの場をご提供できるよう、丁寧な声かけや取り組みを重ねています。地域を意識しながら展開する本プログラムは学生にとって豊かな人間性を育む貴重な機会にもなっています。



関西福祉科学大学
福祉創造学科 4年生
齊藤 かおりさん(カフェ運営リーダー)

FOPでは、認知症高齢者とのコミュニケーション法を学び、認知症カフェの運営に取り組んできました。そして、仲間や先生方、地域住民の方々に関わる中で、コミュニケーションの大切さを実感しました。

4年間の活動を通して、相手の話をよく聞くということや、人の気持ちを一番に考えるということを心がけるようになったと感じます。これから対人援助職として働くにあたり、支援を必要としている方の気持ちに寄り添うことを大事にしていきたいと思います。